

業績ハイライト

営業の概況(ほくほくフィナンシャルグループ)

当社における平成16年度の業績につきましては、子会社等からの配当金およびグループ経営運営費を受領し、営業収益は78億円、経常利益は69億円、当期純利益は69億円となりました。

また、当社における連結ベースでの平成16年度の業績につきましては、連結経常収益は2,032億円、連結経常利益は272億円、連結当期純利益は112億円となりました。連結自己資本比率につきましては8.33%となりました。

なお、当期より北海道銀行を連結しており、北海道銀行の損益は、9月1日以降の7ヵ月分を連結しております。

■ ほくほくフィナンシャルグループ(連結) 経営指標

(単位:百万円)

	平成15年度	平成16年度
連結経常収益	179,445	203,200
連結経常利益	7,074	27,226
連結当期純利益	5,031	11,248
連結純資産額	193,692	380,750
連結総資産額	5,675,209	9,398,673
1株当たり純資産額	119.86円	159.75円
1株当たり当期純利益	3.94円	6.86円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	3.55円	5.67円
連結自己資本比率(第二基準)	8.20%	8.33%
連結自己資本利益率	3.53%	4.88%
連結株価収益率	43.15倍	47.37倍

営業の概況(北陸銀行、北海道銀行)

■ 預貸金

預金につきましては、お取引先の資産運用ニーズの多様化にお応えするため投資信託・年金保険・公共債等の預かり資産の販売を推進したことによる減少要因もありましたが、「ジャンボ宝くじ付き定期預金」が好評を博したこともあり、2行合算で前期末比341億円増加し、8兆3,260億円となりました。

貸出金につきましては、消費者ローンは順調に増加しましたが、一般事業法人の資金需要が弱含みで推移しましたことから、2行と分割子会社(当期北陸銀行が企業再生支援強化のために設立した(株)北銀コーポレート)合算で前期末比1,661億円減少し、6兆7,212億円となりました。

■ 配当政策

当社は、銀行持株会社の公共性を鑑み、経営の健全性の確保のため、内部留保の蓄積に十分意を用いつつ、業績等も勘案した上で安定配当を行う方針でございます。

平成16年度の期末配当につきましては、普通株式は昨年より50銭引き上げて1株当り1円50銭、第1回第1種優先株式は1株当り3円85銭、第1回第4種優先株式は1株当り3円31銭、第1回第5種優先株式は1株当り7円50銭とさせていただきます。

■ 損益状況

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、北陸銀行では、消費者ローンの増強、投信・年金保険などの個人預かり資産の増強による収益力強化や経費削減施策による増益要因があった一方、事業性貸出の需資低迷から資金利益が減少し、前期比30億円減少し519億円となりました。北海道銀行では新種業務への積極的な取り組みによる手数料収入の増加、経営合理化の一層の推進等により前期比10億円増加し338億円となりました。

不良債権処理額につきましては、企業業績の回復基調を受け、大型倒産や不良債権の新規発生が減少したこと、さらには、お取引先の経営改善が進み、債務者区分が上昇するなどにより、貸倒引当金の取り崩しも発生いたしましたことから、北陸銀行では前期比248億円減少し427億円、北海道銀行では前期比70億円減少し168億円となりました。

一方、法人税等調整額は、北陸銀行で104億円、北海道銀行で60億円を計上し、繰延税金資産の圧縮に努めました。

この結果、北陸銀行の経常利益は前期比101億円増加し167億円、当期純利益は前期比8億円減少し40億円、北海道銀行の経常利益は前期比65億円増加し173億円、当期純利益は前期比2億円増加し111億円となりました。

北陸銀行・北海道銀行（2行合算）経営指標

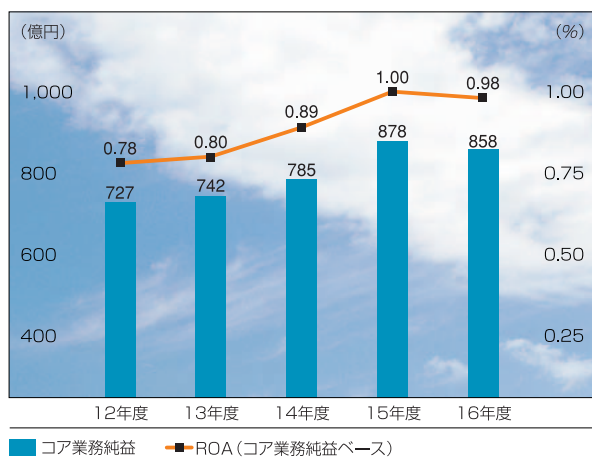
(単位:億円)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
コア業務粗利益	1,730	1,705	1,705	1,765	1,750
コア業務純益	727	742	785	878	858
経常利益	173	△1,434	△467	173	340
当期純利益	118	△1,311	△523	157	152

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益等

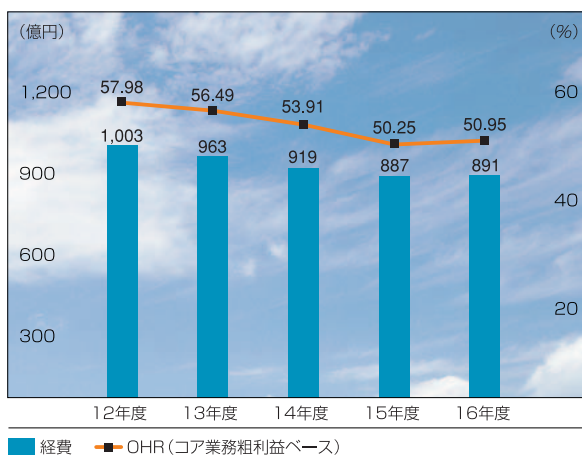
※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

■コア業務純益の推移（2行合算）



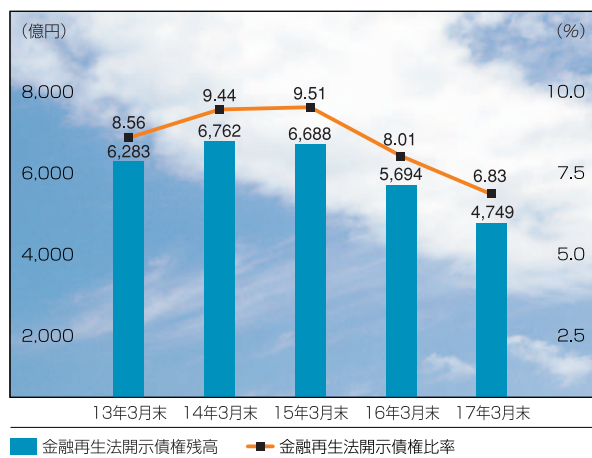
※ROA(コア業務純益ベース) = $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$

■経費の推移（2行合算）

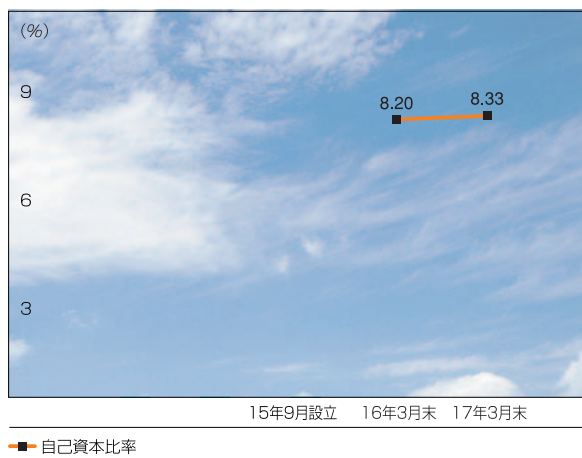


※OHR(コア業務粗利益ベース) = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

■不良債権の状況（2行合算＋分割子会社）



■自己資本比率の推移（FG連結）



■経営合理化の進捗状況（4社合算ベース:持株会社+北陸銀行+北海道銀行+分割子会社）

店舗・人員配置や組織の見直しなど経営資源の効果的な配分と、業務のアウトソーシングや提携戦略の展開による合理化・効率化を進めてまいりました。

	13年3月末	14年3月末	15年3月末	16年3月末	17年3月末
国内支店数(注1)	293カ店	271カ店	262カ店	255カ店	249カ店
従業員数(注2)	5,974人	5,655人	5,347人	4,832人	4,506人
人件費(注3)	510億円	466億円	434億円	405億円	402億円
物件費	435億円	441億円	432億円	434億円	433億円
人件費+物件費	946億円	908億円	867億円	840億円	835億円

(注1) 出張所、外為集中店、ローン専用ダイレクト支店、払込専門支店、共同利用ATM管理専門支店を除く。

(注2) 事務職員、庶務職員合算。在籍出向者を含む。嘱託、パート、派遣社員は除く。

(注3) 持株会社から子銀行に支払う出向社員事務協力費を含む。

北陸銀行(単体)

コア業務純益は、前期比30億円減少の519億円となりました。資金利益は、資金需要低迷による事業性貸出の減少や金利リスク低減のための有価証券圧縮の要因で減少し823億円となりましたが、役員取引等利益は、投資信託・保険販売や私募債・シンジケートローン等の取り組み強化により、過去最高の151億円となりました。

経常利益は、不良債権処理額の減少等により、前期比101億円増加の167億円、当期純利益は繰延税金資産圧縮を織り込んだ結果、前期比8億円減少の40億円となりました。

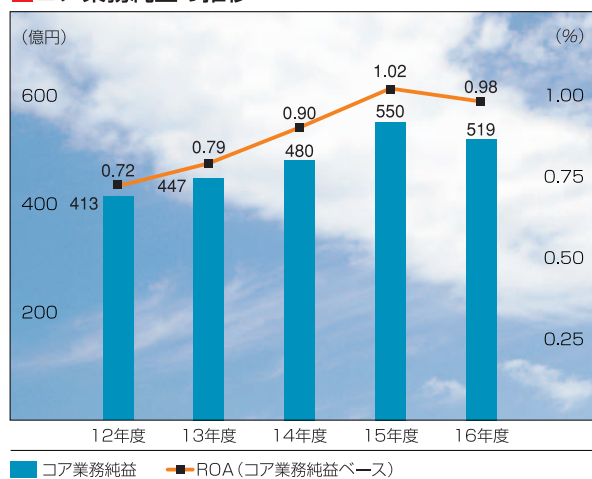
(単位:億円)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
コア業務粗利益	1,018	1,017	1,013	1,070	1,036
コア業務純益	413	447	480	550	519
経常利益	104	△1,559	95	65	167
当期純利益	57	△1,356	27	49	40

※コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益等

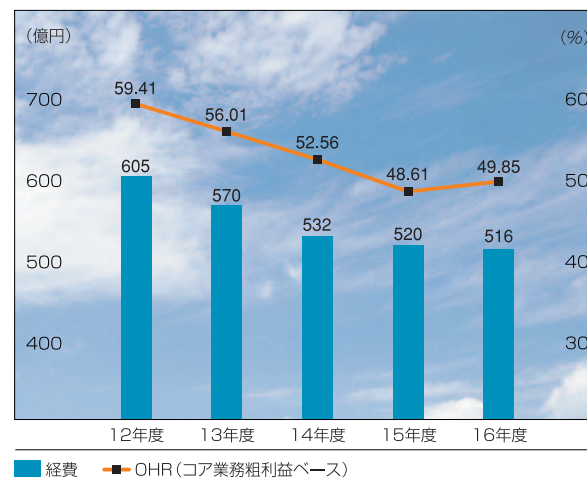
※コア業務純益=コア業務粗利益-経費

■コア業務純益の推移



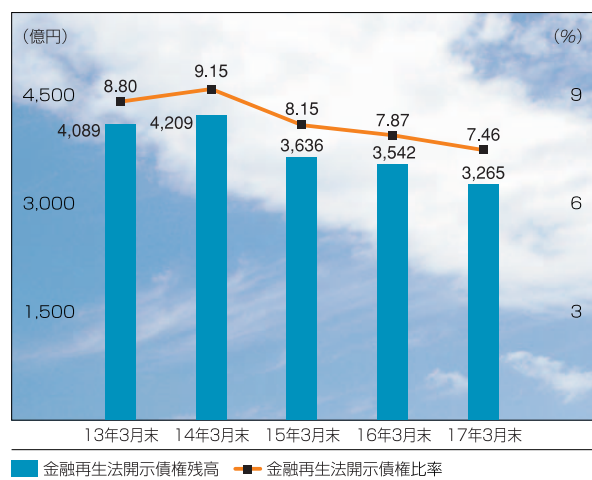
※ROA(コア業務純益ベース) = $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残}-\text{支払承諾見返平残}}$

■経費の推移

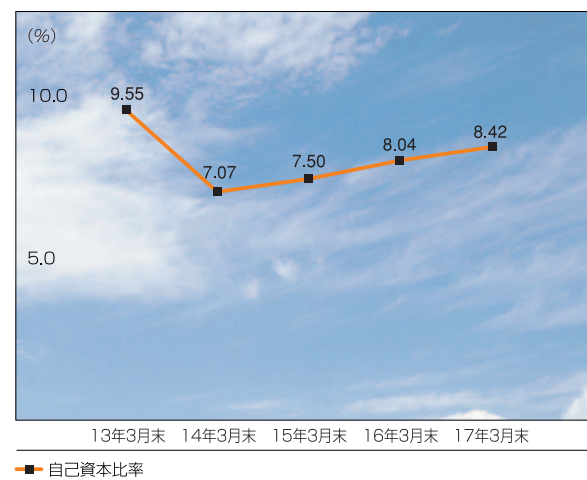


※OHR(コア業務粗利益ベース) = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

■不良債権の状況(＋分割子会社)



■自己資本比率の推移



北海道銀行(単体)

コア業務純益は、前期比10億円増加し338億円となりました。資金利益は、資金需要低迷による事業性貸出の減少、貸出金利回りの低下を、住宅ローンの増強や有価証券の投資拡大、有価証券利回りの改善によりカバーし、横ばいとなりました。役務取引等利益は、投資信託・保険販売のほか、私募債・シンジケートローン等の積極的な取り組みにより手数料収入が増加し、10億円の増益となりました。

経常利益は、不良債権処理額の減少等により、前期比65億円増加し173億円、当期純利益は繰延税金資産圧縮を織り込んだ結果、前期比2億円の増加の111億円となりました。

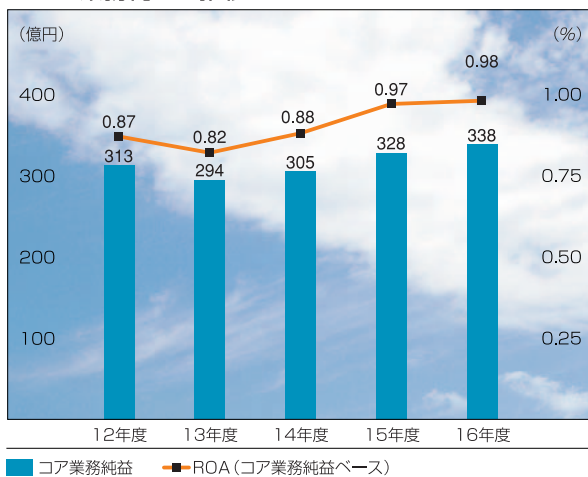
(単位:億円)

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
コア業務粗利益	711	687	691	694	713
コア業務純益	313	294	305	328	338
経常利益	69	124	△563	107	173
当期純利益	61	45	△550	108	111

※コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益等

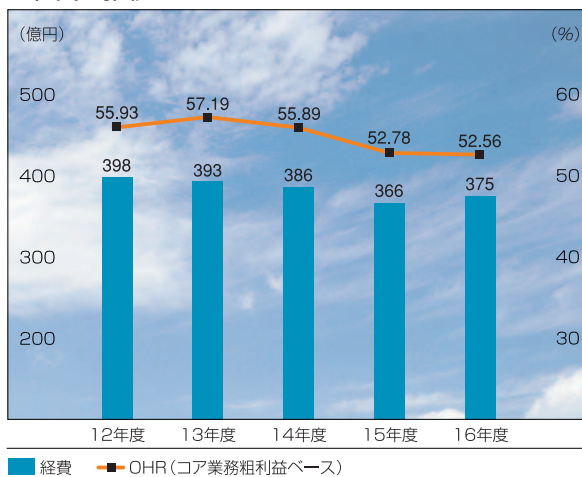
※コア業務純益=コア業務粗利益-経費

■コア業務純益の推移



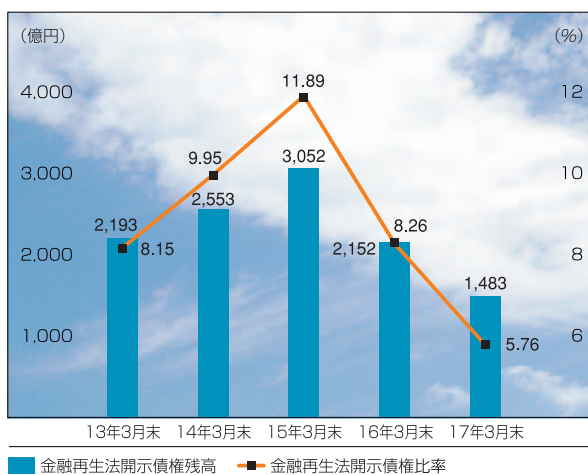
※ROA(コア業務純益ベース) = $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残}-\text{支払承諾見返平残}}$

■経費の推移

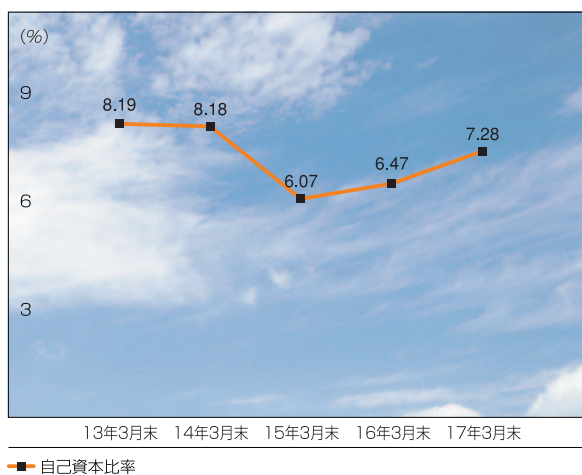


※OHR(コア業務粗利益ベース) = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

■不良債権の状況



■自己資本比率の推移



地域の預金・貸出金の状況

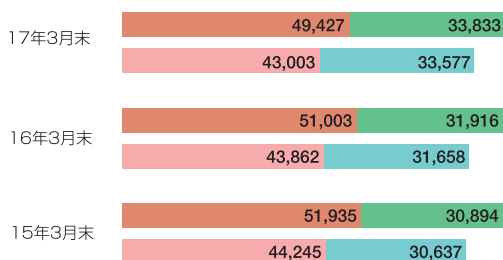
(注)『地域』とは、北陸銀行および北海道銀行の主要営業基盤地域である北陸三県(富山、石川、福井)および北海道を指します。

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

■ 地域の預金の状況

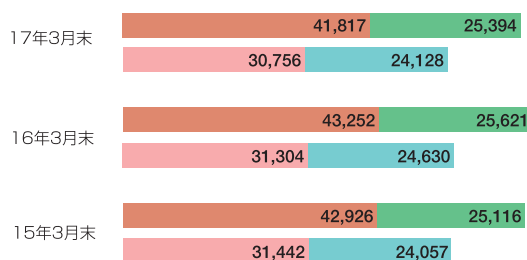
(億円)



■ 総預金(北陸銀行) ■ 総預金(北海道銀行)
■ うち地域向け預金(北陸銀行) ■ うち地域向け預金(北海道銀行)

■ 地域向け貸出金の状況

(億円)

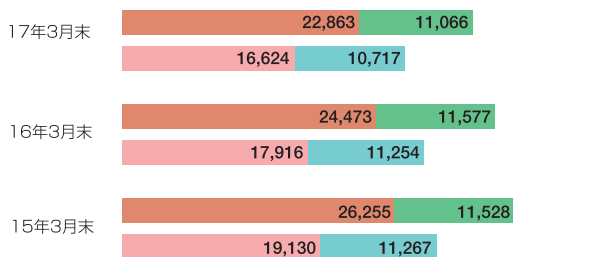


■ 総貸出金(北陸銀行) ■ 総貸出金(北海道銀行)
■ うち地域向け貸出金(北陸銀行) ■ うち地域向け貸出金(北海道銀行)

(注) 北陸銀行の貸出金には分割子会社を含むRMBSを含む

■ 中小企業向け貸出金の状況

(億円)

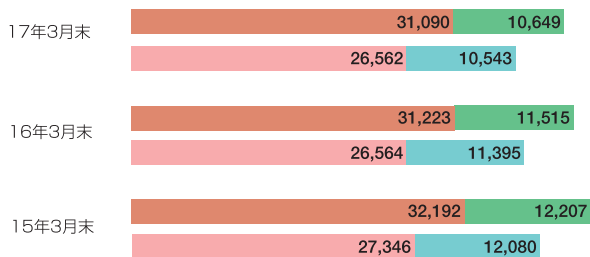


■ 中小企業向け貸出金(北陸銀行) ■ 中小企業向け貸出金(北海道銀行)
■ うち地域の中小企業向け貸出金(北陸銀行) ■ うち地域の中小企業向け貸出金(北海道銀行)

(注) 北陸銀行の貸出金には分割子会社を含む

■ 中小企業向け貸出先数の状況

(先)



■ 中小企業向け貸出先数(北陸銀行) ■ 中小企業向け貸出先数(北海道銀行)
■ うち地域の中小企業向け貸出先数(北陸銀行) ■ うち地域の中小企業向け貸出先数(北海道銀行)

(注) 北陸銀行の貸出先数には分割子会社を含む

■ 地域の業種別貸出金の状況 (17年3月末)

(単位:億円)

	北陸銀行		北海道銀行		地域向け貸出金計(2行合算)		国内貸出金計(2行合算)	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
製造業	4,847	15.7%	1,771	7.3%	6,618	12.0%	8,774	13.0%
農業	127	0.4%	65	0.2%	192	0.3%	194	0.2%
林業	28	0.0%	2	0.0%	31	0.0%	31	0.0%
漁業	184	0.5%	26	0.1%	210	0.3%	230	0.3%
鉱業	23	0.0%	20	0.0%	43	0.0%	44	0.0%
建設業	2,566	8.3%	1,522	6.3%	4,088	7.4%	4,894	7.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	316	1.0%	221	0.9%	537	0.9%	563	0.8%
情報通信業	170	0.5%	46	0.1%	216	0.3%	362	0.5%
運輸業	980	3.1%	557	2.3%	1,538	2.8%	1,843	2.7%
卸売・小売業	4,019	13.0%	3,730	15.4%	7,750	14.1%	10,219	15.2%
金融・保険業	396	1.2%	634	2.6%	1,031	1.8%	1,992	2.9%
不動産業	2,083	6.7%	1,483	6.1%	3,566	6.4%	5,080	7.5%
各種サービス業	3,657	11.8%	2,733	11.3%	6,390	11.6%	7,684	11.4%
地方公共団体等	2,574	8.3%	2,823	11.7%	5,398	9.8%	6,934	10.3%
その他	8,780	28.5%	8,488	35.1%	17,269	31.4%	18,360	27.3%
合計	30,756	100.0%	24,128	100.0%	54,885	100.0%	67,212	100.0%

(注) 北陸銀行の貸出金には分割子会社を含むRMBSを含む